

第 29 回高等専門学校情報処理教育研究委員会研究発表会報告

学術情報センター副センター長 三河 佳紀

1. はじめに

平成 21 年 8 月 26 日(水)から 28 日(金)の日程で、第 68 回高等専門学校情報処理教育研究委員会および第 29 回高等専門学校情報処理教育研究発表会が長野工業高等専門学校主幹で、善光寺で有名な長野県の長野市生涯学習センターTOiGO を会場に開催されました。この研究委員会の目的は、同じ組織形態を持つ全国高専の教員が、情報処理教育、コンピュータネットワーク環境等に関する研究成果を発表し、相互の情報交換を行い、今後の高専の情報処理教育のあり方を模索することにあります。

3 日間の日程は、1 日目が委員会、2 日目が研究発表会、3 日目が研究発表会と産学連携シンポジウムとなっています。委員会には専情委北海道地区委員である函館高専が道内 4 高専を代表し参加しています。

今年度は研究発表会および産学連携シンポジウムに学術情報センターの三河と佐藤が参加してきましたので、以下にその概要を報告致します。



長野市生涯学習センターTOiGO

善光寺

2. 研究発表会

8 月 27 日(木)から長野市生涯学習センターTOiGO で開催された研究発表会は、3 会場に分かれてそれぞれ研究発表が行われました。

研究発表会に先立ち行われた開会式では、大会委員長(高等専門学校情報処理研究委員会委員長)の群馬工業高等専門学校 本間清校長、実行委員長の長野工業高等専門学校 大島有史校長よりそれぞれ開式にあたっての挨拶がありました。

第 1 会場では、主に「教育実践」(基礎教育、プログラミング教育、システム開発教育、共同教育、地域連携、コンテスト形式教育、教育点検)についての発表が行われ、各高専における情報処理教育の見直しや、新規性の高い教育実践についての報告がなされていました。本校からは、学術情報センターの三河と佐藤が、“学術情報センターを活用した情報

技術教育”と題して発表を行っております。

第2会場では主に「教育実践」（教材開発・活用，e-Learning 等学習環境整備），「教育・学習支援システム開発他」についての発表が行われました。

第3会場では「情報インフラ整備」，「教育用計算機」，「情報サービスシステム開発他」について各高専での機器や LAN 等の更新状況などが報告されておりました。

どの研究発表も，今後の高専における情報処理教育にとって大いに参考になる有意義なものでした。この研究発表会の論文集は学術情報センターにありますので，いつでも閲覧して下さい。

3. 特別講演

8月27日（木）の研究発表会終了後に「学術情報基盤が拓く新たな教育・研究の姿」と題して，国立情報学研究所の板内正夫所長より特別講演がありました。

主な内容は，国立情報研究所が行っている学術情報基盤に関するアクティビティや新しい可能性の紹介，その実現に向けた連携型のトライアル（学術クラウド型）フォーラム活動の提案等でありました。大変貴重なお話しであり今後の情報処理教育に大いに参考になる内容でした。

4. 産学連携シンポジウム

8月28日（金）の全ての研究発表会終了後に，新しい試みとして産学連携シンポジウムが開催されました。今回のシンポジウムは，特定非営利活動法人高専プロコン交流育成協会（NAPROCK）が主催で，テーマを“情報産業界の技術者が語る「情報産業界で働く楽しみを知る」”と題し，情報産業界からパネリストを招き開催されました。

5. おわりに

次回，平成22年度の第30回情報処理教育研究発表会は，平成22年度の高専関係3つの集会（教育教員研究集会，プロジェクト研究集会，情報処理教育研究発表会）を「夏季高専大会」と称して同時期に長岡技術科学大学で開催される予定です。



JR 長野駅と大会歓迎横断幕